9月号 増刊　通巻107号 1997年9月1日発行 平成5年5月6日第三種郵便物認可
FRUiTS
9
1997
フルーツ
STREET 9月号増刊号
500yen
原宿フリースタイル
2interview
2047112０

contents

fruits-mg.com

原宿 Free Style

シャツ：ヒステリックグラマー
パンツ：古着
シューズ：レッド ウィング
ファッションのポイント：パンク風
19才、専門学校生

シャツ：文化屋雑貨店
バック：フリーマーケットで300円
19才、短大生

BELLY BUTTON
TOKYO BOPPER

シャツ：クアトロで
パンツ：シカゴで
アクセサリー：ケン's スクランチ
バック：シルバーダラー
ファッションのポイント：特になし
美容室：mono slug
20才，美容師

シャツ：カミネリエ
シューズ：エスペランサ
ファッションのポイント：仕掛け入り金髪
美容室：AVANTI
今ハマッている事：グルメ、映画、料理
好きな音楽：ブラックミュージック
20才、フリー

シャツ：kae'l
パンツ：kae'l
ファッションのポイント：ヘアスタイル
美容室：2030
今ハマッている事：ポラロイド
好きな音楽：パンク
19才、フリーター

シャツ：古着
パンツ：古着（だれかの手作り）
シューズ：Fin
ファッションのポイント：やんちゃな子供
美容室：アーティストサロン
今ハマっている事：おもちゃ収集
好きな音楽：アシッドジャズ
18才，専門学校生

シャツ：ツモリ チサト
パンツ：高円寺の古着
シューズ：わかんない
ファッションのポイント：うごきやすく，さわやかに
美容室：SASHU
今ハマっている事：メイク
好きな音楽：ブリティッシュロック
19才，専門学校生（美容）

ジャケット：コム デ ギャルソン
スカート：オゾン コミュニティー
シューズ：コージ クガ
ファッションのポイント：チャイナで
美容室：CACHE
18才、大学生

シャツ：W<
パンツ：W<
シューズ：アンダーカバー
アクセサリー：MARS、ビューティービースト
帽子：20471120
バック：W<
ファッションのポイント：TATOO（ねこ）
美容室：ミラクルコントロール
今ハマッている事：猫、赤
好きな音楽：ハードコア
18才、専門学校生

シャツ：グッドイナフ
パンツ：AFFA
シューズ：コンバース
バック：プラダ
メガネ：グリコ
ファッションのポイント：パンツ
美容室：自分
今ハマッている事：フィギア
好きな音楽：パンク
22才、美容

ワンピース：手作り（お母さん）
ファッションのポイント：和風チックなところ
美容室：SHIMA青山店
今ハマッている事：おどること
好きな音楽：テクノ
18才、大学生

シャツ：コム デ ギャルソン
パンツ：ヨージ ヤマモト
シューズ：コム デ ギャルソン
ファッションのポイント：天使くん
美容室：トゥルース
今ハマッている事：お部屋のもようがえ
好きな音楽：ジャズ
専門学校生

シャツ：コム デ ギャルソン トリコ
パンツ：マサキ マツシマ
シューズ：オゾン コミュニティー
ファッションのポイント：涼しさをアピール
美容室：ピカピア
18才、専門学校生

80's NEW WAVE 1997 SUPER LOVERS

ワンピース：PILE OF TRASH
シューズ：カンペール
ファッションのポイント：らくなかっこう
美容室：いろいろ
好きな音楽：パンク
17才、高校生

シャツ：デクスター ワォン
パンツ：デクスター ワォン
ファッションのポイント：ホモっぽいTシャツ
好きな音楽：テクノ
21才、美容師

シャツ：むげんどう
パンツ：HYPER2
ファッションのポイント：ややトランス
美容室：ソラリス
好きな音楽：SKA、トランス
18才、専門学校生

ブラウス：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：シカゴで
シューズ：カナブランド？
ネックレス、ブレスレット：ママからのおくりもの（18K）
ファッションのポイント：王子さま
美容室：自分よ
今ハマッている事：人間ウォッチング
好きな音楽：ジャズ
18才、専門学校生

シャツ：友達の手作りのTシャツ
パンツ：代官山で
ファッションのポイント：ナカザワー＆山下清
美容室：バーバ ノブ
今ハマッている事：引っ越し
好きな音楽：アーサのglobe
19才、専門学校生

シャツ：ダイエットブッチャースリムスキン
パンツ：ザ ナイン ヘッズ
シューズ：ジャック パーセル
ファッションのポイント：中学生逮捕
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：ソーイング
好きな音楽：たどのラップ
18才、専門学校生

シャツ：バツ
パンツ：アルゴンキン
シューズ：PREGO
美容室：アクア
19才、美容師見習い

シャツ：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：ビューティービースト
シューズ：ヴィヴィアン ウェストウッド
ファッションのポイント：いつもと同じ
美容室：ボリューム
今ハマッている事：服を作る
好きな音楽：パンク、SKA
18才、専門学校生

シャツ：文化屋雑貨店
スカート：古着
シューズ：せった
ファッションのポイント：和（着物）
美容室：MINX
好きな音楽：HIP-HOP、J-RAP
18才、専門学校生

シャツ：20471120
パンツ：ジュンヤ ワタナベ
シューズ：コンバース オールスター
美容室：SHIMA
18才、専門学校

シャツ：ヘルムート ラング
パンツ：コンシャス
シューズ：BELLY BUTTON
美容室：地元で
ファッションのポイント：Tシャツを腰で着た
19才、専門学校

シャツ：イッセイ ミヤケ
スカート：友人からもらった
シューズ：クリストファー ネメス
ファッションのポイント：自分を出す
美容室：友達

ブラウス：ジェーン マープル
スカート：ジェーン マープル
ヘッドドレス：シャーリーテンプル
ファッションのポイント：ウェイトレス
美容室：自分
今ハマッている事：着物の絵付け
好きな音楽：フレンチポップス
20才、大学生

ジャンパー：ヒステリックグラマー
パンツ：後染したアーミーパンツ
ファッションのポイント：ちょっとしたパンク
美容室：MINX
今ハマッている事：人間ウォッチング
好きな音楽：HIP-HOP
18才、専門学校生

カーディガン：ゴム
ワンピース：大阪で買った
バック：VOICEで
ファッションのポイント：悪魔の妖精
美容室：ACQUA
今ハマッている事：服のリメイク
好きな音楽：ジャングル
17才、高校生

シャツ：ケイタ マルヤマ
スカート：BA-TSU
シューズ：高円寺で
バック：手作り
ファッションのポイント：ジャパニーズ
美容室：ACQUA
今ハマッている事：日本
好きな音楽：かわいいの
19才、専門学校生

ブラウス：ヴィヴィアン ウェストウッド
スカート：studio always
シューズ：コージ クガ
帽子：日本帽子協会
ファッションのポイント：日本文化と農家
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：就職
好きな音楽：ハウス
19才、専門学校生

パンツ：コム デ ギャルソン（古着）
シューズ：オーバーキューブ
ファッションのポイント：蛍光ピンク
美容室：VOLUME
今ハマってる事：高円寺
好きな音楽：テクノ
19才、専門学校生

ショートジャケット：カルマ
シャツ：カルマ
スカート：J.P.ゴルチエ
シューズ：20471120
メガネ：C.C.カントリー
ファッションのポイント：メガネにつけた自作のアクセサリー
美容室：VOLUME
今ハマッている事：アクセサリー作り、インテリア
好きな音楽：ハウス、パンク
20才、専門学校生

シャツ：ワイス
スカート：ヨージ ヤマモト
ファッションのポイント：黒できめてみた
美容室：VIVACE
17才、高校生

シャツ：クラッチ
スカート：オゾン コミュニティ
シューズ：BELLY BUTTON
ファッションのポイント：OZONEのふんわりスカート
美容室：VIVACE
17才、高校生

防災袋

シャツ：古着
パンツ：クラッチ
シューズ：アンダーグランド
美容室：VOLUME
19才、フリーター

ブラウス：ヴィヴィアン ウェストウッド
スカート：ミルク
シューズ：コージ クガ
アクセサリー：手作り
バック：おじさんの手作り
ファッションのポイント：お花
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：クソパンク？
好きな音楽：クソパンク？
19才、アーティストのたまご？

STUDENT SHOW

表参道のホコテンで学生三人組のショーがあった。

都内の服飾専門学校在学中の三人が6月29日の日曜日、原宿・表参道のホコテンでショーを行った。ブランド名は「不協和音」。日本テーストをうまくこなしていて、イイ線いっていたので、紹介しました。買いたい人は連絡してあげて下さい。但し実家なので、失礼のないようにね。

田面山淳　(タモヤマ・ジュン)
TEL　044-751-2208

右ページの写真はデザイナーの三人。左から
坂口文恵　田面山淳　新井滋美

不協和音

上着：自作

上着：自作
パンツ：自作

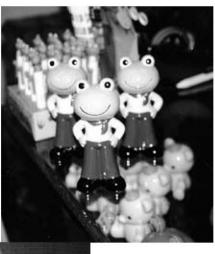
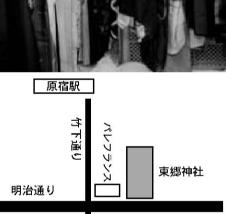
スカート：アレクサンダー マックイーン
シューズ：ジュンヤ ワタナベ

Ka'eL（カエル）知ってる？

アジアテーストの独特な品揃えで知る人ぞ知るお店、知っている人も多いかもしれない。オフ原宿のちょっと分かりにくい立地だけど、スタイリストの青柳光則氏が昨年三月、ひょんなきっかけでオープン。当初はハワイの日系人がテーマの品揃えでスタート。お祭り用のイレズミTシャツが大ヒットして、今は台湾のラージサイズの子供用チャイナ服、ベトナム服、アオザイ等のアジアテースト。今夏からはカエルオリジナルの浴衣生地のスカートや、デッドストックの洗える着物生地スカート等も新登場している。一度寄ってみるとおもしろいよ。

東京都渋谷区神宮前2-25-4
TEL 03-5474-3590

Ka'eL

日曜日に原宿へ行くなら、東郷神社の骨董市に行かない手はないぞ。

毎週日曜日、早朝から午後3時頃まで、原宿の竹下通り横の東郷神社で骨董市が開かれている。高価な骨董には手が出ないかもしれないけど、古着の着物やガラクタの中には掘り出し物がたくさんあるよ。今の原宿ファッションのアイテムにはピッタリかも。

GAME

ＷＡＲＰの新作ゲームは画面を使わない。音だけでプレーするらしい。

「Ｄの食卓」「エネミー・ゼロ」とビッグヒットを連発した株式会社ＷＡＲＰの新作「リアルサウンド―風のリグレット」は画面を使わず、音だけでプレーするゲーム。音楽はムーンライダースの鈴木慶一が制作、立体音響を採用するなど、そうとうこだわっている。ゲームのテーマは初恋、一人の青年が女の子と出逢い、初恋の記憶が微妙に交錯する中で、新しい恋と別れを経験するというボーイミーツガールのストーリー。女の子との会話にどう答えるかの決断を選択していく。声優には柏原崇、菅野美穂、篠原涼子が担当している。

ＣＤ４枚組　６、４００円

株式会社ワープ　ＴＥＬ ０３-３４０３-７５６０

FÖTUS

フェトウス＝ドイツ語で胎児

ロンブーの淳（あつし）がガサ入れで付けていた明滅するリストバンドはFOTUSだ。

深夜番組の通称ガサ入れ、最近の若い女性の一部には困った人がいる様です。その番組中で淳が手首に付けていた、光が明滅する幅のひろいリストバンドが気になった人も多いはず？実は全身フェトウスブランドだったらしい。スタートしたばかりのブランドだけど、もともと雑貨メーカーの会社なので、ハイテクテーストは完成度が高い。あの絵が変る鉄腕アトムのTシャツやグッズもここのアトムブランド。JR渋谷駅近くに専門ショップがオープンした。表参道のイエロールビーにも品揃えしてあるぞ。もうあのリストバンドは完売してしまったそうだが、他にもハイテク系商品がたくさんあるよ。

東京都渋谷区桜丘町8-6
TEL 03-5458-9077

ＦＲ　二人での服作りの方法について伺いたいんですが、たとえば今回のイボーズのコレクションではどの様に進めていったんですか？

リカ　イボーズではまず中川にストーリーが浮かんで、そこから始めたんです。

中川　まずピョウマが水の中に潜って行って、潜っているうちに息が苦しくなって、死にそうになったときに、楽園のような世界が見えてくる。そこに行ったら助かるんちゃうかって思って降りていったら、そこはゴツゴツ惑星で怪獣が襲ってきて、逃げてたら今度はイボイボ怪獣が襲ってきて、傷だらけになりながら無事帰還するっていうストーリーが浮かんで。そういう話をリカちゃんにしてたんですよ。そこから始めていったんです。

リカ　いままでストーリーからやったことってなかったんです。コレクションのきっかけが毎シーズン全然違うんですよ。今回は中川が突然ストーリーを言い出したので。そのストーリーがおもしろかったので、そこからやろうかっていうことになったんです。

ＦＲ　最初は服のコンセプトのためのストーリーということではなかったんですか？

中川　ただなんとなく浮かんで、それをテーマにしようって。リカちゃんはスピリチュアルなものやクラフト的な温もりとかそういうのがすごく好きなんですけど、僕は対照的に量産でオートメーション化されててダンダンダンって工場での流れ作業とかの近代的なイメージがすごく好きなんです。それでお互いぶつかるときもあるし、うまくいくときもあるし。会社もシステム的にしたがるんですよ。

interview 後半

20471120

デザイナー

中川正博　LICA

MASAHIRO NAKAGAWA

CIAの本部みたいなのにあこがれがあって。映画とかで出てくるでしょ、すごいシステマチックな。今回は僕なりに取り入れたんです、システムを。

リカ　ほんと？

中川　取り入れたやん。五感を挙げていって…

リカ　ああ、うん。

中川　そのストーリーが出たあとに、普通だったらミーティングをして、ディテールを作っていったり、ドレーピングしようとか、ありったけの資料を持ってきて考えたりするんですけど。今回はそこんとこは僕が仕切って、そのストーリーが五感で言うと、たとえば視覚で言うとどんな感じとか、お互い出し合って、二人の考えが合って、ちょうど納得いくところを取ろうかって、なんか敢えてそういうふうにしたんです。

ＦＲ　二人で五感に当てはめていくんですか？

リカ　そのストーリーを聞いて、イメージするものは視覚はどうなのか、匂いはどうか、触った感じはどういうのかって出していったんです。

（中川さんがスケッチブックを持ってきて説明してくれる。）

中川　こんな感じです。みのむしチックとか、音は擦れる音とか、味は甘い、触覚は乾いた感じ、ニョロニョロとか、こんな感じです。

ＦＲ　ところで、このスケッチブックのスタイル画は中川さんが描いたんですか？

TYKHO MOON

ティコ・ムーン

MOVIE

エンキ・ビラルの新作映画！期待できるはずだ。

青い世界。あのエンキ・ビラル監督の二作目の映画「ティコ・ムーン」が公開される。地球の植民地である月の都市。その独裁者は、奇病に冒され、臓器提供者を必要とする。ドナーはただ一人、ティコ・ムーン。ねらわれた元反乱軍のリーダー、ティコ・ムーンの戦い、過去、そして赤い髪の女。
折れたエッフェル塔や、屋台がある、不思議な街で、ストーリーが進んでいく。
最初にあのと書いたのは、一作目の「バンカー・パレス・ホテル」がとても良かったから。エンキ・ビラルはビジュアリストである。その作品は、劇画だけにとどまらず、バレエの装置デザイン、衣装、ポスター・イラストまでおよぶ。

ザナドゥー　TEL 03-3288-3300

いんじゃないかって考えると、前はこうでって。そのときにパンツとかリカちゃんの好きな形にすると、けっこう合格とか。

リカ　**私はけっこう部分で想像するんですよ。全体で想像しないんです。部分、部分で、**トアールで部分を組んで形にしていったりとか、クラフト的なやり方が好きなので。コーディネーションしないんですよ。私はアイテムの部分とかでアイデアを出すんですけど、中川は全部コーディネーションしたものを出すんですよ、さっきのスタイル画みたいに。私は肩の部分だけ描いたりとか、部分だけで出すんで、そこが全然違うんです。

中川　僕はさっき言ったようにシステム的なものにあこがれがあるんで、自分がそういう人間じゃないからやと思うんですけど、一つ自分なりの新しい案が浮かぶと、すぐにある程度コーディネートしてしまうんです。このディテールがOKなら、ジャケットだとしたらシングルやったらこうで、ダブルやったらこうとか、レディスやったらメンズやったらこうなるとか。いろんな種類をパパパパって出すんですよ。けっこうおもんない（面白くない）仕事の仕方してるけど。（笑）

リカ　ファッションプロデューサー的ですね。私は一番最後にコーディネーションするタイプなんで、スタイル画では出せないんですよ。仕事のやり方が全く違うんです。

FR　自分のディテールのアイデアを拡げてくれる人がいるとやりやすいんじゃないですか？

リカ　そうですね。私が思いついたポイントやディテールとか部分的なアイデアをすぐに見せると、ええやんこれええやんって言って、横でブワーってスタイルリングしてコーディネートしてるから、すごいむかつきますよ。私がせっかくそのアイデアを出して、色々出しつくした最後にスタイリングしようとしてるのに、横で先にそれをやられてしまうので。すごいむかつくとか思いますけど。（笑）

中川　僕はそれ早いんですよ、**何百枚もドバーって描くんですよ。**

リカ　スタイルにするよね、すぐ。

FR　何百枚もですか！

中川　自分で気にいったディテールが出たときとか、リカちゃんが作ってていいなと思ったら、集中的に出すな、バーって。

リカ　うん。

中川　そのときもシステムが頭にあって、こう出したら次はこうしなきゃいけないんやとか、自分で勝手に思うんです。どんどん描き散らかしてるうちに、何をやってたのか分からんようになってしまって、アレ？とか言って。

リカ　全然違う方向に行ってしまうときが時々あって。みんなまとめて、これは違うって。

中川　そういうところでぶつかったりします。素材なんかも僕はMDっぽいし、僕はファッションの企業にいたことがないので、メーカーとかを知らないんです。イポーズやったらゴツゴツのディテールで並べて、これにはこの素材って当てはめていって。素材を合わすときにボトムがゴツゴツモンスターのデザインやとしたら、トップはスッキリしたほうがええとか、コーディネートで考えながら素材を当て込んでいくんです。それはあまりおもんない仕事なんかな。

中川　そうです。

ＦＲ　めちゃくちゃうまいですね。こんなにうまいスタイル画を描く人とは思わなかったです。さすがですね。

中川　そうですか？めっちゃええかげんですよ。

リカ　ドローイングの先生してましたもん。

中川　ファッション課でドローイングも教えてました。

御船　僕生徒やったんですよ。

ＦＲ　ええ、そうなんですか。知らなかった。それはいつ頃ですか？

中川　阿倍野のころです。

ＦＲ　けっこうもめたりするって言ってましたよね。

リカ　お互いの悪いところを遠慮しないで言うことがルールになってるんですよ。我慢して溜めてもしょうがないですから。だからよく言い合いしますよ。カバンも置いたまま走って帰ったりします。（笑）

ＦＲ　どういうところでぶつかるんですか？

リカ　どんなことやったっけ？なんか具体的にあったっけ？いつもやから分からへんね。（笑）中川がオレはこう思うからこんな感じを想像する、とか言ったら、ええでもこれは違うんちゃう？って言うんですよ、すぐ。これはそういうイメージとちゃうんちゃう、とかね。（笑）

中川　そんなんもあります。

リカ　**私はこう思う。とか言ったら、それはちゃうやろとかなってきて、言い合いすんねんな。**

中川　ダサイとかなんとか。

リカ　そんなんむっちゃむちゃダサイわ、とかお互いね、すごい言うんですよ。ただの兄やんの発想やわ、とか。

ＦＲ　それは服のディテールやデザインとかでもですか？

リカ　ディテールとかよりもコンセプトとかイメージ、想像することが特に多いですね。ディテールやデザインは絵型で流していきますので。

中川　デザイン案はけっこうシビアに、お互いにバーっと出し合っていくんですよ。

ＦＲ　さっきのコンセプトが終わってからですか？

中川　そうです。ないしは煮詰めながら出していくんです。最後ある程度煮詰まったらボンって線を引くときがあるんですよ。このへんで行こうっていうときに、合わないのとかを外していって。

リカ　そのときは二人ともシビアなので、これはイイこれはダメっていくんですよ、お互いのものを。私がドレーピング生地で作ってこんな感じどう？とか言っても、それダサイって。納得いかなかったら反論するんですけど、それはけっこうスッーて。

中川　重いしやめようとか。

リカ　すごい納得しますね。あっそう、じゃコレ止めって。

ＦＲ　二人で別々にデザイン案を出すんですか？

リカ　そうです。それでお互いに出したものを見るとまた刺激し合うんで、どんどん進化して行くんです。

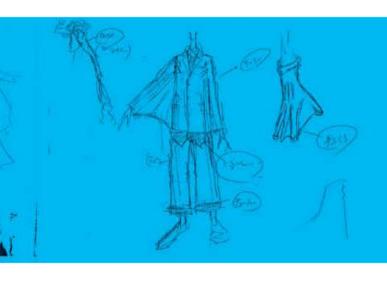
中川　**けっこう僕は器用で、例えばこういうディテールがいいんじゃないかって考えると、すぐコーディネートしてスタイル画にしてしまうんですよ。**テーラードでこういう背中がい

FR　そうなんですか。
中川　よかったな、あれ。
リカ　うん、フリーハンドでやったんな。
中川　工場のおっちゃんに怒られて。
FR　かなりテーラードっぽいシリーズでしたよね。
リカ　そうですそうです。

FR　編集の小島が大お気に入りで。
御船　買っていただいてましたよね。
FR　気に入るとすぐ買っちゃうから。
リカ　あれはすごいクラフトでしたよ。とりあえずテーラードって思ったんで、何枚も何枚もジャケットを解体して。

東コレデビューするんやったら、テーラードが出来ないと馬鹿にされるって思ったんですよ、私は。

年齢が若いし大阪からっていうこともあるし。テーラードができなくて馬鹿にされるのは絶対いやだって思って。完璧なテーラードを作ろうと思って、何枚も何枚もいろんなところのトラッドや古着やデザイナー物のジャケットを解体して、芯とか肩パッドやゆきわたの使い方を、色々解体した中で一番いいと思ったものをやったんですよ。ほんとにクラフトの作業でした。
FR　そうでしたよね。迫力ありましたよ。
中川　赤いストライプのシャツとか。あのとき初めてストライプとか使えたんや。
リカ　そう、あのとき生地も初めて作れたんで。テーラードはやっぱりいつになってっも基本ていうか、重視したいっていうか、勉強したいところですね。

中川　僕はサラリーマンがグレーのコンクリートスーツを着てるのがおもしろいというか、そういうところがあって。いつもデザインするときはテーラードっていうか、スーツからなんです。FR　でもビジネススーツは着たことないでしょ？
中川　着たことないですけど、なんか街歩いててロボみたいでおもしろいっていうか。それをおしゃれにしたいとかじゃないんですけど、そういスタイルっていうか群像っていうかを大事にしたいっていうか。

FR　コンセプトからパターンまでってどれくらいの期間なんですか？
中川　ほんちゃんのパターンいらい出しはギリギリなんですよ。それまでの実験で組んだりするのにずいぶん期間が掛かってるので。だからパターンが上がるのはコレクションの2ケ月前くらいです。
FR　じゃあパターンが上がるまで3ケ月程ですか？
リカ　そうですね。
FR　それを年に2回ですよね、大変じゃないですか？
リカ　大変です。（笑）
FR　毎シーズンテーマが違いますよね。
御船　僕らもびっくりしますよ。次はこんなのかなって思ってると、いきなりドンって違うのが出てきて。だんだん良いなって思うようになってくるんですけど。
FR　それは毎シーズンテーマを変えなきゃって思うんですか、それとも次はこれをやりたいっていうのが自然に出

リカ　いや分からへんけど。
FR　トータルのバランスって重要ですもんね。
中川　もう全体全体で。でも結局全体を見きれてへんから収拾ついてへんときあるんですけどね。
FR　そうやってデザインを出し合って、セレクトしてこれで行こうって決めるんですか？
中川　そうです。
FR　生地を決めるのはそのあとですか？
リカ　イポーズのときはイメージ・コンセプトのストーリーが出来たときに生地に入ってました。そのあとデザインに入っていって。
FR　デザインをセレクトしたら、あとはパターンですよね。パターンはどうやってるんですか？
リカ　一番最初のクラフト的な部分を私が布で作るので、パタンナーに絵型を渡すときに、ここはこういう風になってその作ったものを渡すんです。それでパタンナーが立体で起こしてきて、それをチェックして直して、また立体に起こしてっていうのを何度も繰り返すんです。
中川　僕の場合、イポーズのときもその前のときもそうなんですが、なんとなくテーマやイメージが出てきた段階で、パタンナーに言って、僕はテーラードが好きなんで、トアールでテーラードのを一体作ってもらうんですよ。こんなラインでって。それを置いておいて、キャンバスって言ったら変ですけど、トアールの色ってそんな感じでしょ、そこから考えたりするんです。
FR　へえ、まず一体作ってもらうんですか。
中川　そうです。そのころリカちゃんは自分で切って作っ

てるんですよ。リカちゃんは自分のイメージする生地に近い素材でやるんですよ。ほんまはそっちの方が良いんですけど。僕はなんかトアールの色が好きなんで。
リカ　最近はパタンナーも20471120のパターンに慣れてきたので、絵型だけを渡してパタンナーがどんな立体を起こしてくるかっていうやり方もしてます。絵型だけの指示でパタンナーのイメージとセンスでどこまで受け止めるか、どう立体に起せられるかって。ひとりのコなんかはだいぶ分かってきてるんで、絵型とイメージの説明だけで、イメージ通りのものを立体に起こしてくるように最近なってきてるんです。
FR　社員の人なんですか？
リカ　そうです。
FR　貴重ですね。
リカ　そうですね。
中川　二人でイメージが固まりつつある段階で呼んで、思ってるイメージを話して、こんな感じって始めていくことが多いんです。
FR　その人はいつごろからなんですか？
中川　ちょうどライダーズのショーとき。
リカ　その前に入ったから、ライダーズから参加して、2回目の東コレからの参加です。
FR　でもまだ2、3年ですよね。その前はリカさんがパターンをやってたんですか？
リカ　そうですね、ほとんど。
中川　最初の東コレはほとんどやったな。
リカ　うん、やってました。
中川　最初はオレもやったな。僕もやったんです。

バーってやりだして。

FR　ぎりぎりでやって出しちゃうと、ああすればよかったとかって後悔はないですか？

リカ　あります。いっぱいありますよ。もう後悔はいつもありますよ。

中川　後悔っていうか、反省点な。こういうふうにしたらよかった、ああいうふうにしたらよかったって。

リカ　でもね、いつも前向きっていうか、いいようにしか捉えないんで、反省点がいっぱいあったときは、ということは私はあのときよりも成長してるんだって思うんですよ。

（笑）

FR　それで次にそれを生かす感じですか。

リカ　そうですね。

中川　リカちゃんはある程度でバシッて切るもんな。僕はけっこうあれもやって、これもあるしっていう感じでずうっとだらだらいくんで。素材なんかでも出来てきたものをさらにこうやってって。リカちゃんはある程度でバシッて切られるんで、ここから後は次のシーズンやって。ほなそうしようって安心してやれるんですけど。でも次のシーズンになったら忘れてんな、そのことは。収拾つかんくらい、

ショーの前日とかでも言ってるもんな、こうしようとか、訳け分からんことを。

中川　あ、出来上がったものでしょ。僕もそうです。ショーのビデオでも、やってるときは自分も楽しんで、おもろいとかって思うんですけど、終わった後は見る気しないです。ごちそうさまっていう感じで。

リカ　私はすごい冷静に見てるかもしれない。このショーはあれは良かったこれは悪かったって。

FR　お店に並んでる商品についてはどうですか？

リカ　作ったときよりも好きって思える商品もありますし、お店に並ぶと違う顔になって、ええ？って思うのもあります、色々です。

FR　客観的に見れなくなることってないですか？

リカ　私はいろんなお店に行ったり、いろんな洋服を買いますし、見ますので、すごい客観的に見れます。いろんなお店を見に行って、あれカワイイなとか思いつつ、最後に自分の店に来るんで、すごい客観的に見れます。社長はどう？

中川　店の服はあんまり見いひんな、店の全体ばっかり見てて。服が並んでるイメージとか、環境にめっちゃこだわるから。

リカ　そうなんですよ。私は他の店に行っても洋服にばっかり集中するんですけど、中川は店のディスプレイから形から内装から。

中川　内装ですよ。入口がここにあって、

入った瞬間にお客さんがまずこういう風な空気を味わって、こうやってこうやってこうやって買ったらこうなってとか、光はどうやって出してるとか、めっちゃ考えますよ。自分の店でもここはあかんとか分かってるんですけど、今はお金が無いんでしゃあないかなって感じで。

FR　お店に並んでる商品って何ヶ月か前に作ったものじゃないですか。僕は雑誌が出来てきて、しばらく見るのがいやな期間があるんですよ。

てくるんですか？

中川　そうですね、なんかやりたいから。

リカ　なんかやりたいことが出てしまうんで、変ってしまうんです。

FR　あまりテーマを大きく変えずにやるデザイナーと、ガラッと変えるデザイナーといるじゃないですか。

リカ　飽きてしまうというのがすごいあるんですよ、二人とも。

中川　飽きるな。

リカ　クラフトの面だと、そこをずうっと突き詰めていきたいという気持ちもあるんですけど、ひとつのものに対して同じ角度から見るのがいやなんですよ。だから内容とかクラフト的な部分は突き詰めていくけど、違う角度からっていう気持ちがあるんです。同じ角度からっていうのがいやなんですよ。

中川　けっこう僕なりに本気でやるので、というか遊びながらなんですけど。食べちゃうっていうか、完全吸収する感じなんです。だからそれ食べてうんこしたら次にちゃうもん食べたいなっていう気になって。ファッションって栄養ドリンクみたいなもので、半年づつ区切られているのがちょうど良いんです。気になるものを、ミーハーなんですけど、ファッションのイメージで包み込んでいって全部吸収して吐き出してしまうっていうイメージがあって。

FR　イメージを食べてるんですか。

中川　そうしたらいろんなことを知れるし、勉強になるし。ああこんなおもろいことがって感じで。それがこんど絵を描きたいって思ったときなんかに栄養剤になるんです。

リカ　年2回決まってるし、追われてくるんですけど。人

間ってだらだらすると果てしなくだらだらしてしまうし。やると出来てしまうっていうのが人間の能力で、限界ってないと思うんですよ。ここまでしか出来ないって絶対ないと思うから、追われたらやろうっていう気になって、それが前向きに働いて、それによって視界が拡がって、色んなものが入ってきて、それを表現すると、また色んなものがおもしろくなってきて。普通に普段生活している中では全然興味がなかったことが、視界が拡がって、色んなものを取り入れようっていう気持で一つのものに興味がでてくると、どんどん面白くなってきて、気がつくとショーが終わってて。そうすると何か今まで知らなかったことをあんなに勉強したなあって、あんなに色々遭遇したなあって思ったらまた楽しくなって、でまた次に行くっていう感じで。

FR　3ヶ月って短くないですか？もっと熟成させたいみたいなことはないですか？

中川　年2回っていうペースに慣れてるし、やってて悪くないって思うし。1年に1回とか2年に1回しかコレクションをしないとしても、結局やるのは3ヶ月前とかになると思うんですよ。コレクションが終わったら、ああいっぱい食べたなあって感じで、もうええわって感じで。次なにか新しいことっていう感じになってるので。

リカ　もし年に4回あったとしても、やると思うんです。

中川　僕は特に、絵にしても、締切がなかったら絶対にせえへんもんな。ぼけーとして、ゲームしたり遊んだりして。明日やろうって自分に言い聞かせて。結局ぎりぎりになって、

ときは何もないと思うんです。ただ自分のアイテムと合うなあとか、これを着たら足がきれいに見えるなあとか想像できる洋服には、服自体はなにもパワーを発してないと思うんですよ。**ハンガーに掛かっているだけで洋服のパワーがすごいって思える服を作りたいって、すごい思ってたんです。**すごい着方が難しい服とかその1点をコーディネートするのが大変っていうのが、うちの洋服はけっこうあると思うんです。それをあえてものすごいコーディネートをしてるとか、ものすごい着方をしてる人を見ると、パワーあるなって思います。

ＦＲ　２０４７１１２０の服って、他のブランドの服と合わせるにしても、コーディネートのテーマ・お題みたいになってますよね。コーディネートのキメの商品になってて。

リカ　そうですね。頭使わないとできないと思うんですよ。何度も家でファッションショー繰り返して、そうやって頭使わないとできないと思うんで、けっこうみんな色々やってくれてるんだろうなって思ったらうれしいです。**鏡の前で何回も何回も着替えてると思います。**

ＦＲ　髪型や他にも影響を与えますもんね。あのシャツ着て普通のヘアースタイルはできないよな、みたいな世界ですよね。なんかテーマ与えるみたいでいいですね。お題を与えるみたいで。ＦＲＵｉ ＴＳ では最多出場のアイテムなんですけど、撮影しているとそのメッセージが見えるんで、撮りたいっていう気になるんですね。服と着る人との新しい関係かもしれないですね。ＤＣブームの頃って、全身うちのブランドで着てよ、みたいなのがあったじゃないですか。うちの出すファッションコンセプトが正解ですよ、みたいなのが。

リカ　そうですね、このジャケットにはこのパンツが合いますよみたいな。

ＦＲ　トータルで、ヘーアスタイルもこうだし、ライフスタイルもこうですよみたいな。２０４７１１２０の場合、このシャツはひとつのお題ですので、解答してください、みたいなのを感じますよね。

リカ　逆にうちのとうちのを合わすと難しいっていうときが沢山あると思います。

ＦＲ　過剰なときありますよね。（笑）

中川　ありますね。

リカ　このシャツにこのパンツは無理やろっていうのがいっぱいありますからね。ぜんぜんコーディネートをケアーしてませんからね。

ＦＲ　逆に全身２０４７１１２０で合わせるのも一つの課題？

リカ　すごい難しいと思いますよ。

御船　難しいですよ。

ＦＲ　いいですね、それ。

リカ　ＦＲＵｉ ＴＳ ではどんな人を撮ろうって思うんですか？

ＦＲ　服が喋ってる人。最初に服がしゃべってきますから。そういう服ですよね、２０４７１１２０の服って。

リカ　そう言っていただけるとうれしいです。

ＦＲ　ファッション雑誌のファッションって喋らないじゃないですか。スタイリストのコーディネートだし。ストリ

FR　なんかすごいですね。

中川　販売員も含めての環境いうか、すべての環境。環境って人にすごい影響を与えるでしょ。このたばこの箱がここにあるのと、こっちで立ってるのとすごい違うし。そんなんばっかり考えてますよ。

リカ　プロデュース的な面あるね、特にショップに関して。

中川　**だから企画で煮詰まってきたら、すぐ環境変えようって言うんです。**イボーズのときは、は虫類の本とかをリカちゃんが買ってきて、イグアナの写真をカラーコピーしてバーって貼ったりして。素材が出来てきたら、ラテックスとか、切ってそこらじゅうに貼って。環境があったらやるタイプいうか、なかったらやらないっていうか。スケッチブックの表紙にもイメージを貼って、毎日見るので、やらなきゃ、みたいな。

FR　パターンの後はサンプル作成になるんですか？

リカ　2、3回トアールで立体チェックをしてから、素材をあて込んでサンプル縫製に出すんです。

FR　あとは工場に出して製品になるんですね。

リカ　そうです。サンプルが気に入らないときはもう一度直して工場に出します。

FR　中川さんは全体のバランスでコーディネートを考えるじゃないですか。でも実際にお客さんは色々な着方をしますよね。そういうのはどう思うんですか？

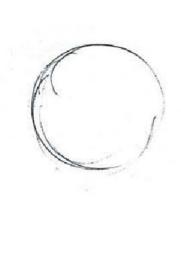
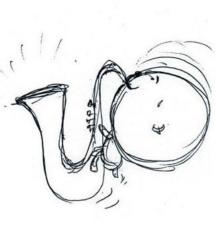
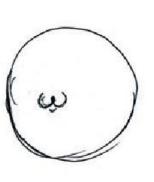
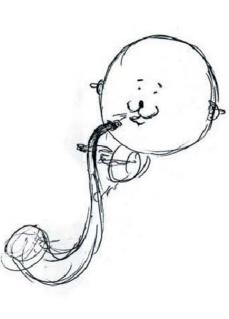
中川　いや、それは発見につながります。すごい着方をし

てるとか色々ありますよ。びっくりしたり、自分が逆に吸収するとか。**大阪のお客さんにはすごい人いますよ。アゴはずれそうになるくらい。**ひょうまのニットのパンツに腕を通して、後ろでぐちゃぐちゃになってたり、ワイルドですよ。（笑）

リカ　私はすごい好きですね、そんなん。逆にパワーをもらいます。見たときカッコ悪くても、チャレンジだと思うんですよ。**洋服を着るっていうことは絶対チャレンジだと思うし、自己表現だと思うんで。**たとえ人が見てエエ？って言うようなものでも、自分の表現なのですごい良いなって思います。

FR　チャレンジさせるような服がけっこうありますよね。チャレンジしてるんだぞっていう気合がないと着れない服が。（笑）

中川　そうですね。（笑）

リカ　私が若いころもそうだったんですけど、洋服ってパワーをもらうものだと思うんですよ。素肌に着るものなので、一番の自己表現で、他にも表現はいっぱいあるんですけど、簡単に自己表現になるものが洋服だと思うんですよ。学生のころに洋服って何なんやろって悩んだときに、あるお店でホーって思ったことがあったんです。その洋服自体にものすごいパワーがあって、洋服自体が表現してて、ハンガーに掛かってるだけなのに、この服すごいって思ったんですよ。それでやっぱり洋服って良いわって思ったときがあったんです。それでそういう服を自分も作りたいって思ったんです。コーディネートしやすい服とか中身を表現しやすい服というのは、服自体がハンガーに掛かっている

ートファッションはメッセージですから、服や全身が喋ってくるじゃないですか。課題の発表みたいなとこもあるし、作品だと思うんで。その作品を収穫するっていう意味もあってフルーツなんです。いろんな種類のフルーツをもぎ取ってバスケットに入れましたみたいな感じなんです。

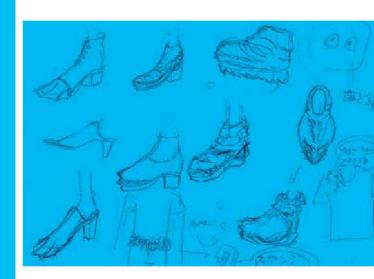
リカ　そういう意味があったんですか。

中川　新鮮なのもあるし、腐りかけのもあったりして、おもろいですね。

FR　色々つっこんで聞かせていただいてありがとうございました。画期的なインタビューになったんじゃないかなと思います。また機会があったら色々聞かせて下さい。

（連絡先）

２０４７１１２０　　０３－３７９６－１０８４

(日)ヒョウマ　２０４７１１２０のキャラクター

(月)兄やん　にいやん＝あんちゃんの様な意味

(火)トアール　シーチング

(水)ＭＤ　マーチャンダイザー

プレゼント

２０４７１１２０からイボーズのショー用のスタッフウインドブレーカー（赤）とインビテーションになった小冊子（１０ページのヒョーマの漫画）を５組プレゼント。

ご応募方法　はがきに「２０４７１１２０プレゼント希望」と書いてご応募下さい。

宛先　ストリート編集室
東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-501

締め切り　８月２０日

左ページ：HEAD IBOO'S COLLECTION (1997.4.12)

20471120 中川正博

アロハ：母親のお土産（13才の時）
パンツ：20471120
シューズ：レッドウイング
ファッションのポイント：ダイナマイト刑事（デカ）夏バージョン
美容室：GEN&HONEY
今ハマッている事：刑事（デカ）ドラマ
好きな音楽：ダイナマイト風な音楽
29才、デザイナー

20471120 LICA
上着：ペリッシマLimitedEdition
スカート：CONDIRE
シューズ：20471120
好きな音楽：デジタルハードコア

ブラウス：ミルクボーイ
シューズ：文化屋雑貨店
ファッションのポイント：足元
美容室：IMAI
今ハマッている事：赤色
好きな音楽：環境音楽
19才、大学生

シャツ：アング スタート
パンツ：ダイエットブッチャー
シューズ：ジョージコックス
ファッションのポイント：青いあたま
美容室：ヴィヴァーチェ
今ハマッている事：チャーハン
好きな音楽：クラシック
19才、大学生

ベスト：マサキ マツシマ
ブラウス：マサキ マツシマ
スカート：コム デ ギャルソン
シューズ：コム デ ギャルソン
美容室：SHIMA
今ハマッている事：ぷよぷよ
好きな音楽：ハウス
18才、専門学校生

ワンピース：コム デ ギャルソン
ファッションのポイント：暑い日用
美容室：SHIMA吉祥寺
今ハマッている事：食べ歩き
好きな音楽：ハウス
18才、専門学校生

セーター：トランス コンチネンツ
パンツ：タイム イズ オン
くつ：ORB
美容室：彼女が切った
20才、フリーター

ベスト：ガレージハウス
ブラウス：ヒステリックグラマー
スカート：ヒステリックグラマー
バック：ガラクタ貿易
ファッションのポイント：足袋とケチャップの前かけ
美容室：JOJOのカットモデル
20才、フリーター

シャツ：横浜中華街で
パンツ：ズッカ
シューズ：くつの流通センターで
バック：渋谷の露店
ファッションのポイント：コアチックでしょう！
美容室：Heavens
今ハマッている事：プレステ
好きな音楽：とべるものならなんでも
20才、フリーター

シャツ：ヴィヴィアン ウエストウッド
パンツ：自作
シューズ：ビューティー ビースト
アクセサリー：ゴルチエ、ヴィヴィアン ウエストウッド、髭
美容室：MINX
今ハマッてること：写真を撮ること
19才、専門学校生

シャツ：コム デ ギャルソン
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：クリストファー ネメス
ファッションのポイント：でかいオーバーオール
美容室：彼女
今ハマッている事：ギター（バンド）
好きな音楽：U.K.ロック、STONE ROSES
20才、大学生

カーディガン：ビューティービースト
スカート：ビューティービースト
シューズ：クリストファー ネメス
ファッションのポイント：ビューティービーストの巻きスカート
美容室：アバリエ
今ハマッている事：おもちゃ
好きな音楽：フレンチ
19才、大学生

ファッションのポイント：へびパンツ
美容室：KURASHIGE
今ハマッてる事：人間観察
21才、美容師インターン

シャツ：カズヤ ヒラヤマ
パンツ：カズヤ ヒラヤマ
ファッションのポイント：クモと赤髪
美容室：今日はウィッグだけど普段はKURASHIGE
好きな音楽：テクノゴア系、R&B
19才、美容師インターン

シャツ：J.ケイスリー ヘイフォード
パンツ：ヘルムートラングを自分で改造
くつ：コンバース
ファッションのポイント：ラフっぽさの中に上
美容室：自分
19才、専門学生

シャツ：クラッチ
ブラウス：クラッチ
スカート：クラッチ
シューズ：近所の田中くつ屋
ブレスレット：自作
ファッションのポイント：母のかんざし
美容室：スタジオV
今ハマッている事：お笑い
17才、高校生

シャツ：古着
スカート：クリストファー ネメス
バック：ファントム
ファッションのポイント：普通の人っぽく
美容室：VOLUME
今ハマッている事：遊んでボーとする事
好きな音楽：ベック、ランシド、ピストルズ
20才、専門学校生

パンツ：BA-TSU
美容室：VOLUME
今ハマッている事：服作り、クラブ
好きな音楽：ロック
23才、自営業手伝い+インディーズブランド

シャツ：友達に借りたもの（マルタン マルジェラ）
スカート：自作
シューズ：アルフレッド バニスター
指輪：自作
ファッションのポイント：男らしい女の子
美容室：友達にカラーリング
今ハマッている事：男のスカート
18才、専門学校生

シャツ：マサキ マツシマ
パンツ：アルゴンキン
シューズ：BELLY BUTTON
ファッションのポイント：大人っぽく
美容室：BOY
好きな音楽：ソフトロック
18才、専門学校生

シャツ：セディショナリーズ
パンツ：ミルクボーイ
シューズ：ミルクボーイ
ファッションのポイント：PUNK
美容室：ソラリス
好きな音楽：パンク、メロコア
19才、専門学校生

ブラウス：文化屋雑貨店
スカート：古着
バック：ミルクボーイ
ファッションのポイント：日本風
美容室：地元
好きな音楽：真心ブラザーズ
19才、専門学校生

シャツ：20471120
パンツ：20471120
シューズ：20471120
ファッションのポイント：手作りのリストバンド
美容室：ミラクルコントロール
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：ノイズミュージック
19才、専門学校生

シャツ：パラドックス
パンツ：パラドックス
シューズ：BELLY BUTTON
ファッションのポイント：しばられているかんじ
美容室：ACQUA
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：ハードコア
19才、専門学校生

ブラウス：ヴィヴィアン ウェストウッド
スカート：手作り
パンツ：？
シューズ：コージクガ
美容室：近所で
今ハマっている事：読書
18才、フリーター

ベスト：エディーバウアー
シャツ：エディーバウアー
パンツ：軍物
シューズ：ポロ
帽子：フィルソン
ファッションのポイント：普段着
今ハマッている事：ラップ
好きな音楽：HIP HOP
18才、専門学校生

ジャケット：エディーバウアー
シャツ：ノーティカ
パンツ：ポロジーンズ
シューズ：エアフォースI
ファッションのポイント：普通
今ハマッている事：ラップ
好きな音楽：HIP HOP
20才、専門学校生

シャツ：20471120
パンツ：ミルクボーイ
シューズ：ゲッタクリップ
バック：ミルクボーイ
帽子：スイートチャリティー
ファッションのポイント：パンクっぽく
美容室：友達
今ハマッている事：ポケモン
好きな音楽：スキンズ
19才、バイト

シャツ：エンジェル
スカート：エンジェル
ファッションのポイント：赤な人のところ
美容室：ACQUA
今ハマッている事：ピンクなものを集める
好きな音楽：メロコア
20才、美容師

シャツ：古着
パンツ：古着
くつ：バッファロー
メガネ：U.S.A.アンティーク
美容室：SIDE BURN
21才、美容師

パンツ：ヘルムート ラング
美容室：SIDE BURN
24才、美容師

シャツ：EROTIC GUY GIRL
パンツ：Hard Peach
美容室：ACQUA
好きな音楽：テクノ
23才、販売員

シャツ：サーティースリー
パンツ：フルカウント
シューズ：コム デ ギャルソン
アクセサリー：クロムハーツ、ゴローズ
バッグ：ミルクボーイ
ファッションのポイント：ギャルソンのスニーカー、頭
美容室：モッズヘアー
19才、大学生

スカート：クラッチ
ファッションのポイント：のびきったツーブロックをモヒカン風にしたところ
美容室：目黒のコンプレックス
19才、学生

ジャケット：ヒラヤマ カズヤ
シャツ：古着
パンツ：ヒラヤマ カズヤ
くつ：ナイキ
ファッションのポイント：パンツスーツ
19才

ジャケット：？
パンツ：アツロウ タヤマ
くつ：コージ クガ
バック：J.P.ゴルチエ
ファッションのポイント：赤
美容室：関西美容専門学校ヘアーショウでカット
20才

シャツ：古着
パンツ：古着
ネクタイ：古着
ファッションのポイント：かわいいパンク
美容室：自分で
今ハマッている事：音楽
好きな音楽：パンク
19才、フリーター

スカート：古着
ファッションのポイント：スカートをピンでとめたこと
美容室：自分でやった
今ハマッている事：雑誌を見る、パンダ
好きな音楽：JUDY&MARY、チャラ
18才、大学生

シャツ：YELLOWオリジナルTシャツ
パンツ：EROTIC GUY GIRL
シューズ：sexy popで
ファッションのポイント：オレンジで合わせた
美容室：NUTS
今ハマッている事：ゲーム
21才

シャツ：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：古着
シューズ：クリストファー ネメス
ファッションのポイント：ちょいキュート
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：サイクリング
好きな音楽：テクノ
22才、専門学校

FRUiTS

こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
これが面白いよとか、
今これに注目とか、
ニュース募集

載っている服は、今販売していないことの方が多いと思いますので、メーカーに問い合わせるときは、ご注意ください。

各地名産品募集

ファッションに関すること、
人生に関すること、
相談事募集

ご意見、ご感想の手紙
募集

次号予告
8月23日発売予定。
大阪フリースタイル（予定）
原宿フリースタイル
インタビュー　etc.

こんなページを作ってほしい
こんな企画をしてほしい
募集

アンケートは、自己申告をそのまま
掲載していますので、
まちがっていることもあります。

EDIT　Noriko　KOJIMA
編集発行人・青木正一
発行所・ストリート編集室
東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F　〒150
Tel.(03)3463-2190　Fax.(03)3463-2191
THE STREET EDITORIAL OFFICE
1-16-8-5F, EBISU-NISHI, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN

STREET

VDI
Vantan Design Institute
Voice!
こんなに個性的な人達の中で「大丈夫かな?」って不安がってた自分が、今は恥ずかしい。／就職してもバンタン生だったってこと、誇りに思いたい。／バンタンに入って本気で笑うことが多くなった。／高校の頃の友達って、うわべだけの付き合いが多かった。でも、バンタンの仲間は一生の友達なんだよね。／作品が思うようにできなくて悔しいこともあるけど、好きなことをやってるんだし自分で決めた道なんだから、絶対にあきらめない。／デザインのことで朝まで語っちゃうんだよね。／オシャレなコがいっぱいで最初は不安だったけどみんな同じ夢を持ってるからすぐ友達になれた。／愛があるよね。／自由な学校だってイメージが強いけど決してそれだけじゃない。だからこそ厳しいんだって痛感してます。／高校の頃に憧れてたバンタン生。広告やパンフレットのあのイキイキした表情。自分のアルバムにもそんな仲間達の写真がどんどん増えてゆく。あれは作り物じゃないってことを実感してる。／高校のときは本気で勉強なんかしたことなかった。でも本当は"学ぶ"ってことの意味、知らなかっただけなんだ。／学校が休みだと寂しくて、気付いたらバンタンに向かってるんです。／先生とでも"ホンネ"で話しができる。決して押し付けないしね。／バンタン生って"遊んでそう"ってよくいわれる。外見だけで判断するような人達には何いっても無駄だけど、いつか見返してやるんだ。／本当に感動すると、言葉じゃなく涙が出るんだね。／ずっとバンタン生でいたい。／みんな凄く個性的でビックリしたけど、みんな凄くイイ奴だった。／悔しくて泣いたり、悲しくて泣いたりすることは今までいっぱいあったけど、自分のやったことに感動して、嬉しくて泣けるなんてきっとバンタンだからだね。／プロが講師だから授業は甘くない。だから現場に出ると自信と実力がつくんだと思う。／いつかライバルになるクラスメイト。コイツら手強いよね。／自主イベントの多い学校。だからスタッフになって企画するのが楽しい。他の学部のコ達とも仲良くなれるしね。／高校じゃ笑われたよ。ロンドンでメジャーになるなんて言ったら。でも、バンタンにはもっとスゴイこと考えてる奴がいる。／ホンキになれる人がいっぱいいる。それがバンタン。／地元じゃけっこう目立ってたんだけど、今思えばたいしたことないね。／厳しいけど自由。／朝まで作品をつくってたら家族がビックリしてた。こんなに一生懸命なの初めて見たって。／ヤル気があれば絶対に夢を手にすることができると思う。でも、ヤル気にさせてくれるとこってバンタンだけかも知れない。／カッコイイってだけで入学してくるのはやめてほしい。そんなチャチな学校じゃないんだから、バンタンは。／猛反対してた父が、今は応援してくれている。無理して通わせてくれている両親に、いつか必ず恩返しする。